

令和4年度 群馬県企業局の決算について（速報）

令和4年度の企業局5事業全体の経常利益は、電気事業での売電契約の見直しによる販売電力料の増加などにより、前年度に比べて5億92百万円増加し、51億39百万円でした。

純利益は、前年度に比べて9億5百万円増加し、51億43百万円となりました。

【令和4年度 企業局事業別決算概要】

（税抜き額）

区分	事業実績		料金等収入		経常損益		純損益	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
電気事業	供給電力量 (MWh)	供給電力量 (MWh)	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
	878,194	857,860	9,691	8,584	3,395	2,271	3,373	2,162
増減	20,334		1,107		1,124		1,211	
工業用水道事業	給水量 (千m ³)	給水量 (千m ³)						
	44,870	45,580	1,609	1,594	169	266	169	370
増減	△710		15		△97		△201	
水道事業	給水量 (千m ³)	給水量 (千m ³)						
	65,536	65,536	4,282	4,282	1,081	1,054	1,081	1,056
増減	0		0		27		25	
団地造成事業	分譲面積 (ha)	分譲面積 (ha)						
	6.1	24.1	1,453	4,590	255	838	275	738
増減	△18.0		△3,137		△583		△463	
施設管理事業								
・ゴルフ場	利用者数 (人)	利用者数 (人)						
	212,300	220,134	621	544	237	116	243	△89
増減	△7,834		77		121		332	
・賃貸ビル	貸付面積 (m ²)	貸付面積 (m ²)						
	4,180	4,099	134	130				
増減	81		4					
・格納庫	貸付面積 (m ²)	貸付面積 (m ²)						
	2,541	2,541	41	42				
増減	0		△1					
合計								
			17,834	19,767	5,139	4,547	5,143	4,238
増減			△1,933		592		905	

※表の数値は、表示単位未満の端数調整の関係で、合計と一致しない場合があります。

【決算の主な特徴】

●電気事業

- ・ 電力会社との売電契約の見直しにより、販売電力料は11億7百万円増加し、96億91百万円
- ・ 経常利益は、販売電力料が増加したことなどにより、前年度に比べて11億24百万円増加し、33億95百万円
- ・ 純利益は、販売電力料が増加したことなどにより、前年度に比べて12億11百万円増加し、33億73百万円

●工業用水道事業

- ・ 給水量は若干減少したものの、給水収益は渋川工業用水道の料金改定の影響や新規契約の営業活動の推進により、15百万円増加し、16億9百万円
- ・ 経常利益は、電力料金の高騰に伴う動力費の増加等により、前年度に比べて97百万円減少し、1億69百万円
- ・ 純利益は、前年度に受水企業からの契約水量減量に伴う一過性の負担金収入（特別利益）があった反動により、前年度に比べて2億1百万円減少し、1億69百万円

●水道事業

- ・ 給水量及び給水収益とも前年度並み
- ・ 経常利益は、電力料金の高騰に伴う動力費の増加の影響を受けたものの、減価償却費の減少等により、前年度に比べて27百万円増加し、10億81百万円
- ・ 純利益は、前年度に比べて25百万円増加し、10億81百万円

●団地造成事業

- ・ 分譲面積は、前年度に比べて18ha減少し、6.1ha
- ・ 経常利益は、分譲収入の減少により、前年度に比べて5億83百万円減少し、2億55百万円
- ・ 純利益は、前年度に比べて4億63百万円減少し、2億75百万円

●施設管理事業

- ・ 料金等収入は、ゴルフ場事業で、前年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した納付金の減額があったことなどにより、前年度に比べて80百万円増加し、7億96百万円
- ・ 経常利益は、ゴルフ場事業の納付金が増加したことに加え、減価償却費の減少等により、前年度に比べて1億21百万円増加し、2億37百万円
- ・ 純利益は、旧上武ゴルフ場の廃止に伴う損失処理が済んだことから、前年度に比べて3億32百万円増加し、2億43百万円

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

